

編集後記

山口室長が巻頭言で述べておられるように、今年度の心理相談室における活動は「文部科学省大学院教育改革支援プログラム（現代 GP）の採択」に収斂されるでしょう。「地域実践活動を創造できる臨床心理士の養成」というコンセプトにより、心理相談室が「心理相談部」と「地域実践部」の二部門構成となったことは、臨床心理士の活動の場が地域連携へと広がりつつあることを先取りするものであると自負しています。「相談」「査定」「研究」に続く「地域実践」という臨床心理士が担うべき領域に、大学院教育がどのように貢献できるのか、本学の実践がその新たなチャレンジの一つのモデルとなることを願っております。

もちろん、昨夏の心理相談室ウィークや今年2月に実施された「子育て支援連絡協議会」も心相が提供する「地域実践」の一環です。ただし、こういった活動は、教員や一部の人間だけで動くものではありません。かといって、何らかのビジョン（+情熱）や先導する者の冷静な判断なくしては進む方向を見誤ってしまいます。心相における民主的リーダーシップとチームワークの真価が問われる時かもしれません。ちなみに、「愛神愛隣」とは本学の建学精神であり精神的支柱ですが、これはまさに「地域実践」を意味する言葉ではないかと思います。本学にすでに「地域実践」の種は蒔かれていたことを自覚し、教職員、院生、研修員すべてが一丸となって、このプログラムの推進に知恵と力を出し合ってまいりたいと存じます。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

（國吉知子）

編集委員

山口 素子・國吉 知子・水田 一郎・石谷 真一・小林 哲郎・児玉 佳子
桑山久仁子・高橋美智子・久保 雅代・上田 早紀・宇田 瑞記・大塚 千華
角野 冴子・中村久美子・長谷川貴子・福井 恵・藤谷 晴美・北野由美子

心理相談研究 第9号

2008年3月31日 発行

発行 神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談室
〒662-8505 西宮市岡田山4-1
TEL/FAX 0798-51-8554

印刷 尼崎印刷株式会社
〒661-0975 尼崎市下坂部3丁目9-20
TEL 06-6494-1122
FAX 06-6495-2360